

エネルギーの心配事

わたしたちのくらしを支えるエネルギー。

でもちょっと心配なことも・・・

エネルギーがたりなくなる？

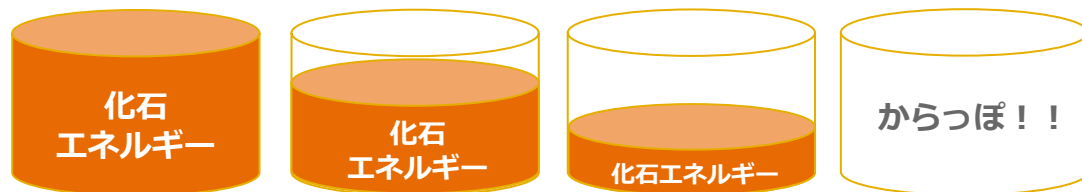
前のパネルにもあるとおり、わたしたちが使っている電気などの二次エネルギーは一次エネルギーから作られています。この一次エネルギーには、化石エネルギーと非化石エネルギーという種類があります。

化石エネルギー：大昔の動物や植物の死がいが、地中の熱などを受けて変化し、長い年月をかけてできたもので、石炭や石油、天然ガスなどは化石などがあります。

非化石エネルギー：化石エネルギー以外のエネルギーのことです。代表的な例としては、太陽光や風力、水力、地熱などがあります。

わたしたちが使っているエネルギーは、その多くが化石エネルギーから作られています。化石エネルギーが地球上にある量には「限り」があります。また、一度使うと無くなってしまい、元には戻りません。

このまま大量に化石エネルギーを使っていくと、将来、無くなってしまいかもしれません。



このままつかっていくと将来的に・・・

地球温暖化？

地球のまわりにある大気中には、二酸化炭素などの温室効果ガスといわれるものがあります。この温室効果ガスは、地球上の温かい熱が宇宙に逃げるのを防ぐはたらきをしています。以前は、温室効果ガスの量がちょうどよかったため、地球上の生き物にとって最適な温度が保たれていました。ところが、最近、この温室効果ガスの量が増えてきていることがわかりました。温室効果ガスが増えすぎると、熱が宇宙に逃げずに地球の気温を上昇させてしまいます。これにより、地球環境に色々な影響を与えることが心配されています。

温室効果ガスの1つである二酸化炭素は、化石エネルギーを燃やすことで発生します。つまり、温室効果ガスは、くらしの中で電気やガソリンなどのエネルギーを使うことで発生しているといえます。

二酸化炭素など
の温室効果ガス

温暖化が進むと

- ・大雨や台風が増えるなど異常気象の進行
- ・乾燥している地域の砂漠化の進行
- ・北極や南極の水が溶けることで海面が上昇し、小さい島が沈んでしまう可能性
- ・動物や植物の絶滅など生態系への影響など色々なことが心配されています。

このような問題を解決するために

自然から取り出すことができ、一度利用してもまた使うことができ、環境にも優しいエネルギーの導入が進められています。このようなエネルギーを再生可能エネルギーといいます。



仙台市のゴミ処理場でもゴミを燃やして発電しているよ！

もちろん、わたしたちが普段からエネルギーをムダ使いしないことが大切です。

ほかにも色々なエネルギーの研究が進められています。